第35回
秋田県優良工事表彰

平成26年8月

秋　田　県

表紙：第３５回秋田県優良工事表彰から

左上：通常砂防事業（森幸苑沢）ＬＡ２３－１０工事

右上：地方道路交付金事業（国道１０１号）２４－ＨＦ１３１－５０工事

左下：中仙中央地区 農地集積加速化基盤整備事業 ０４６０１－Ｋ１５工事

右下：水上沢地区 復旧治山事業 ＲＨ１１０１Ａ１１０工事

第35回　秋田県優良工事表彰式

と　き　平成２６年８月２９日（金）
午後３時３０分　～　５時
ところ　秋田県庁第二庁舎　大会議室

次　　第

1.	開式のことば	
2.	式辞	知事
3.	審査報告	建設部建設技監
4.	表彰状授与	知事
5.	来賓祝辞	県議会議長
6.	受賞者謝辞	受賞者代表
7.	閉式のことば	

第３５回秋田県優良工事表彰から
大曲工業高等学校実習棟電気設備工事
（大仙市大曲若葉町）

目　次

・お祝いの言葉･･･ 2
・第35回秋田県優良工事表彰について･････････････････････ 3
・第35回秋田県優良工事表彰工事一覧表･･･････････････････ 4
・表彰工事の概要･･･････････････････････････････････････ 6
・秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿･･･････････ 36
・秋田県優良工事表彰要綱･･･････････････････････････････ 37

秋田県知事
佐 竹　 敬 久

お祝いの言葉

第３５回秋田県優良工事表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

この表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年で３５回目を迎えました。

今回受賞された３０件は、対象となる1，８５８件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成された他の模範となる工事であります。

建設業は、社会資本整備の担い手であるほか、災害発生時の迅速な復旧作業や冬期間の除排雪など、県民の安全・安心な暮らしの確保に重要な役割を果たしており、地域の経済と雇用、生活を支える基幹的産業であります。

県では、今後とも、県内建設企業の受注機会の確保や県内経済の活性化、技術力と経営力に優れた企業が適正に評価される環境づくりに努めるとともに、新技術・新工法導入等の活動領域の拡大に向けた支援等を通じて、建設産業の振興に取り組んでまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、本県における社会資本整備の担い手として、これまで以上に、技術力の向上と継承に努めていただきますとともに、県民生活の向上と産業振興につながる良質な社会資本の整備に、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げ、お祝いのことばといたします。

第35回秋田県優良工事表彰について

秋田県優良工事表彰幹事長
秋田県 建設部 建設技監
石黒　亙

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰５回目、１０回目の受賞者に与えられる「特別表彰」に加え、平成２０年度から小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を設けております。

今回は、平成２５年度に完成した工事の中から、３０件の工事を優良工事として表彰するものです。施工者の内訳は２３社、７共同企業体となっており、このうち、４社が５回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

これらの工事においては、気象条件やそれぞれの施工上の厳しい制約を克服する優れた技術力と創意工夫、品質向上や安全対策における独自の取り組み、関係機関・地域住民との円滑な調整などが見られます。このように、綿密な施工管理の下に完成された出来形や品質・出来映えに加え、施工プロセスにおいても特に優れていると評価されたものであり、そのご努力に対し敬意と感謝を表するものであります。

今回の優良工事表彰を機に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。

第35回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表（1／2）

番号	受賞回数 特別表彰	工　事　名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	6	関上南部地区 農業水利施設 長寿命化対策支援事業 04101－K01工事	鹿角市 十和田大湯	株式会社柳沢建設	柳沢　義人	鹿角地域振興局
2	1	松木沢地区 予防治山事業 RA1113A121工事	小坂町 小坂	有限会社和田興業	和田　利夫	鹿角地域振興局
3	7	釈迦池地区 農業水利施設 長寿命化対策支援事業 04201－K01工事	大館市 商人留	花岡土建株式会社	鈴木　泚士	北秋田地域振興局
4	8	通常砂防事業 （森幸苑沢） LA23－10工事	北秋田市 阿仁前田	秋田土建株式会社	北林　一成	北秋田地域振興局
5	11	河川災害復旧事業 （早口川左岸） 25災0150－10工事	大館市 早口	株式会社佐藤庫組	佐藤　昌郁	北秋田地域振興局
6	5 今　回 特別表彰	県単河川改良事業 （犀川） 25－K151－20工事	大館市 比内町扇田	平和建設株式会社	菊地　建一	北秋田地域振興局
7	大　森 7 伊藤羽州 5	岩館漁港 漁港施設災害復旧事業 24D5－6工事	八峰町 岩館	大森・伊藤羽州 特定建設工事共同企業体	大森 三四郎	山本地域振興局
8	3	地方道路交付金事業 （国道101号） 24－HF131－70工事	能代市 須田	西村土建株式会社	能登　信一	山本地域振興局
9	5 今　回 特別表彰	地方道路交付金事業 （国道101号） 24－HF131－60工事	能代市 須田	北部建設株式会社	北林　　孝	山本地域振興局
10	7	地方道路交付金事業 （国道101号） 24－HF131－50工事	能代市 須田	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
11	7	野村地区 基幹水利施設 ストックマネジメント事業 00603－K02工事	潟上市 昭和大久保	株式会社板橋組	板橋　広光	秋田地域振興局
12	7	仁井田下堰地区 農業水利 施設長寿命化対策支援事業 02703－K01工事	秋田市 仁井田	中田建設株式会社	広幡　信悦	秋田地域振興局
13	4	昭和豊川地区 農地集積 加速化基盤整備事業 04301－K05工事	潟上市 昭和豊川	秋田瀝青建設株式会社	斉藤　豊隆	秋田地域振興局
14	1	昭和豊川地区 農地集積 加速化基盤整備事業 04302－K01工事	潟上市 昭和豊川	マルト建設株式会社	山平　重明	秋田地域振興局
15	2	男鹿東1期地区 基幹水利 施設ストックマネジメント事業 02002－K01工事	大潟村 大潟他	株式会社清水組	清水　重輝	秋田地域振興局
16	2	新堤地区 ため池等整備・ため池事業 00203－K01工事	由利本荘市 大水口	山勇建設工業株式会社	猪股　榮助	由利地域振興局
17	沢木組 5 村山組 4	地方道路交付金事業 （国道107号） 24－HF17－30工事	由利本荘市 御門	(株)沢木組・(株)村山組 特定建設工事共同企業体	沢木　則明	由利地域振興局
18	3	中仙中央地区 農地集積 加速化基盤整備事業 04601－K15工事	大仙市 清水	有限会社藤澤技建	藤澤　　昇	仙北地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第35回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表（2／2）

番号	受賞回数 特別表彰	工　事　名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
19	6	中仙中央地区 農地集積 加速化基盤整備事業 04601－K13工事	大仙市 清水	株式会社沢野建設	澤野 ノリ子	仙北地域振興局
20	7	地方特定道路整備事業 （神岡南外東由利線） I327－30工事	大仙市 南外外小友	株式会社宮原組	宮原　竜也	仙北地域振興局
21	5 今　回 特別表彰	県単河川改良事業 （玉川　鎧畑ダム） K369－20工事	仙北市 田沢湖田沢	佐藤建設株式会社	田村　保	仙北地域振興局
22	畠山 0 協栄 0	流域治水対策事業 （桧木内川　田沢湖工区） KA19－70工事	仙北市 西木町西明寺	畠山・協栄 経常建設共同企業体	畠山 隆太郎	仙北地域振興局
23	5 今　回 特別表彰	亀福(二期)地区 公害防除特別土地改良事業 00205－K01工事	横手市 増田町	株式会社最上田組	最上田 政司	平鹿地域振興局
24	1	栄南部地区 農地集積 加速化基盤整備事業 04701－K02工事	横手市 外目	有限会社泉谷土木	泉谷　富夫	平鹿地域振興局
25	宮原組　7 日高建設 2	下ノ沢地区 予防治山事業 RG1113A451工事	横手市 山内三又	宮原組・日高建設 特定建設工事共同企業体	宮原　竜也	平鹿地域振興局
26	6	水上沢地区 復旧治山事業 RH1101A110工事	湯沢市 下院内	株式会社高嶋組	高嶋　伸夫	雄勝地域振興局
27	田中 0 秋田 0	大曲工業高等学校 実習棟電気設備工事	大仙市 大曲若葉町	田中・秋田 特定建設工事共同企業体	田中　拓美	教　育　庁
28	1	大曲工業高等学校 第一体育館電気設備工事	大仙市 大曲若葉町	株式会社日仙電機	田口　佐	教　育　庁
29	沢木組 5 宮原組 7	秋田工業高等学校 ラグビー場整備工事	秋田市 保戸野金砂町	(株)沢木組・(株)宮原組 特定建設工事共同企業体	沢木　則明	教　育　庁
30	旭　0 大雄 1	秋田中央高等学校 ラグビー場整備工事	秋田市 土崎港南	旭・大雄 特定建設工事共同企業体	渡辺　憲介	教　育　庁

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

1　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	関上南部地区 農業水利施設長寿命化対策支援事業 ０４１０１－Ｋ０１工事		
施工地名	鹿角市十和田大湯		
商号又は名称	株式会社柳沢建設	許可番号	05-001843
請 負 額	34,160,700 円	工種・格付	一般土木　Ａ級
代 表 者	代表取締役　柳沢 義人		
監理技術者等	現場代理人　長内 洋介		
発注公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	加藤 武	監 督 員	今田 裕樹
工　　期	平成25年11月8日～ 平成26年3月25日	完成年月日	平成26年3月25日
概　　要	１）用水路工 L=375m		
特　　徴	１）本工事は老朽化した旧水路を取り壊し、新たな水路を入れ替える工事である ２）本水路は農業用水のみならず防火・融雪用水も兼ねており、地域の合意・理解が必要である		

写　　　　真

着工前

完　成

超低騒音ブレーカー

◆発注公所の表彰理由

・施工に取り掛かる際、事前に地域住民へ施工方法等の説明を訪問やチラシ配布で行い、何ひとつ苦情やトラブル無く工事を終えた
・超低騒音設備や作業半径監視システム搭載重機を導入し、本工事箇所に隣接する住宅に対する配慮も徹底していた

◆施工業者からのＰＲ

・本水路は、防火・融雪水路になっており下流で二股に分かれているため水路下流への水路水供給対策が課題となった
また、工期短縮のため８インチポンプに塩ビ管φ２００を約１２０ｍ配管し、水替え回数を減らし作業効率の改善及び水路水の供給を図った
・水路にカーブが多く、底版水抜器施工時の位置がずれる恐れがある事から、割付平面図を作成して、すべてのカーブ及び底版水抜器で座標管理を行い、施工誤差を±１０ｍｍとし精度を確保した
・本工事に対しご指導、ご協力いただきました各位には心より御礼申し上げると伴に、本賞受賞を励みに今後も技術研鑽を重ね、地域社会に貢献できるよう精進して参りたいと思います

２　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	松木沢地区 予防治山事業 ＲＡ１１１３Ａ１２１工事		
施工地名	小坂町小坂		
商号又は名称	有限会社和田興業	許可番号	05-005012
請 負 額	25,259,850 円	工種・格付	一般土木 Ｂ級
代 表 者	代表取締役　和田 利夫		
監理技術者等	現場代理人　石井 章		
発注公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	森川 光彦	監 督 員	小塚 大幸
工　　期	平成25年5月31日～ 平成25年12月27日	完成年月日	平成25年12月2日
概　　要	１）治山ダム工 N=3基　V=472.6m^3 ２）仮設工 N=1式		
特　　徴	１）土砂の流出がみられる地区で、その対策として整備する防災施設である ２）利用の多い狭い町道を通過するため、交通障害対策が必要な箇所である		

写　　　　真

着手前

完成

施工中

◆発注公所の表彰理由

・本工事の施工にあっては、狭い町道を通行するに当たり、地域住民にパンフレット等を用いて工事の周知を図り、トラブルがなかったほか、安全対策においては、社内に安全対策の協議会を設置して安全パトロールを実施し、全社一体となって取り組んでいた
・当該地は二度の豪雨に見舞われたが、工程フォローアップにより、工期に余裕を持って完成させ、出来形、品質共に優れている
・町管理の道路草刈りやゴミ拾い、豪雨時には、道路災害を未然に防止するため、土のう積やシート張などの対策を行い、地域への貢献が顕著にみられた

◆施工業者からのＰＲ

・本工事の作業通路が狭いため、搬出入の時間帯を混雑する時間を避けるなど安全管理を徹底して事故防止を行った
・作業通路が雨水等で浸食や崩壊が起きないように路面排水を設置し、大雨等で雑木が詰まらないように現場施工に伴った伐採木を使用して水の流れを確保できるように取り組んだ
・ダム工設置に伴い、周辺地山との調和が取れるようにきめ細やかな仕上げに取り組んだ

３　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	釈迦池地区 農業水利施設長寿命化対策支援事業 ０４２０１－Ｋ０１工事		
施工地名	大館市商人留		
商号又は名称	花岡土建株式会社	許可番号	05-002129
請 負 額	27,537,300 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　鈴木 泚士		
監理技術者等	現場代理人　佐々木 晃吉		
発注公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 芳雄	監 督 員	宇佐美 良則
工　期	平成25年11月1日～ 平成26年3月20日	完成年月日	平成26年3月20日
概　要	１）用水路改修工 L=47m　２）排水路改修工 L=255m ３）洪水吐補修工 N=1式		
特　徴	１）基礎地盤崩壊による水路脱落の恐れがあり、災害防止のための改修 ２）ため池洪水吐の表面剥離などの経年劣化に対する機能回復工事		

写　　　真

４－２型用水路改修工

洪水吐補修工

◆発注公所の表彰理由

・本工事は冬期間の施工であったが、現場の状況に即した工法を提案したほか、後片付け等においても地元関係者と十分に調整を図りながら対応した
・工事の出来映えも良く、事業の趣旨をよく理解した施工を行った

◆施工業者からのＰＲ

・洪水吐補修工では、コンクリートの配合において混和剤を従来の減水剤から高性能減水剤に換えて、厳寒期におけるコンクリートの品質確保を図りました
・用水路改修工では、プレキャスト製品の使用や法面補強にマキセル多段積み工法を採用するなどして、品質確保と作業の効率化を図りました
・また、施工現場までの道路の一部が除雪対象外区間となっていましたが、除雪対策のための情報収集に心掛け、工事車両の安全な通行を確保しました

4　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	通常砂防事業（森幸苑沢）ＬＡ２３－１０工事		
施工地名	北秋田市阿仁前田		
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	00-024461
請 負 額	50,048,250 円	工種・格付	一般土木　Ａ級
代 表 者	代表取締役　北林　一成		
監理技術者等	現場代理人　小林　勇輝		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	青山 尚之	監 督 員	庄司 勝政
工　　期	平成25年3月15日～ 平成26年1月31日	完成年月日	平成26年1月31日
概　　要	１）鋼製えん堤工 H=7.5m、L=34.2m ２）えん堤本体工、垂直壁工、側壁工、水叩工、渓流保全工		
特　　徴	１）ダブルウォール工法を採用し、鋼製型枠（エキスパンドメタル、鋼矢板）を使用した鋼製えん堤工の施工		

写　　　　真

完成写真
透明ビニールシートによる法面保護

中詰土転圧状況

近隣住民宅の
除雪ボランティア活動

◆発注公所の表彰理由

・当工事は土石流から災害時要援護者関連施設（森幸園）を防護するため、砂防堰堤を築造する工事である
・工事の施工にあたっては、施設との連絡を密にし、工事に伴う騒音・振動の発生を極力抑え、工種によっては施工時間を事前に決めるなどの調整を行った
・作業用道路の条件が悪い中、資材や建設機械の搬入においては敷鉄板などの仮設材を設置するなど作業効率を向上させ、無事に工事を完了させた

◆施工業者からのＰＲ

・掘削法面全体を透明ビニールで覆うことで、目視による地山の安全点検を可能にし、施工途中の崩落対策としました
・鋼製堰堤の施工に際し、高さ・勾配・通りの管理頻度（Ｈ＝１．０ｍ毎）を多くすることで見映え、通りの良い構造物を造ることができました
・現場条件や作業内容に適した施工方法や機械を使うことで、厳しい工期の中で無事完成することが出来ました
・積極的に地域住民とのコミュニケーションを図り、除雪や清掃活動の地域貢献を行いました

５　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害復旧事業（早口川左岸）２５災０１５０－１０工事		
施工地名	大館市早口		
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請 負 額	62,476,050 円	工種・格付	一般土木　Ａ級
代 表 者	代表取締役　佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人　武石 祥徳		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	畠山 重忠	監 督 員	青山 尚之
工　　期	平成26年1月10日～ 平成26年3月28日	完成年月日	平成26年3月25日
概　　要	１）復旧延長 L=118.0m ２）護岸工（コンクリートブロック張） A=1,929㎡		
特　　徴	１）堤防が破堤した区間に連結ブロック張護岸を設置する工事である ２）融雪期出水前の完成を目指し、冬期間の品質・工程管理を徹底		

写　　　　　真

着手前全景

完成後全景

ブロック張施工状況
（川表部）

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、平成25年8月の集中豪雨により堤防が破堤した区間の災害復旧工事である
・融雪出水期前までに工事完成させるため、早急な対策が求められる中で、冬期間での厳しい施工条件下において適切な品質・工程管理を行い年度内完成をさせた
・復旧区間全体が曲線区間であるが、護岸ブロック配置管理をきめ細やかに実施し、出来形・出来映えについても評価が高い工事施工である

◆施工業者からのＰＲ

・本工事の工期内３月中旬には、川裏田面の農地災害復旧工事が着手することとなっており、工事の遅延により次年度の作付けへの影響が懸念される中で年度内完成を目指しました
・作業工程の短縮を図るため、早強コンクリート使用による打設工程の短縮、作業効率の良い機械の選定並びに法留基礎のプレキャスト製品を提案、協議し使用しました
また、景観を重視した堤防法線の変更を提案し施工しました
・今後も、更なる品質及び技術の向上、環境への配慮並びに地域社会貢献に努力したいと思います
発注機関及び関係各位の皆様の御指導、御協力に心から感謝を申し上げます

６　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単河川改良事業（犀川）２５－Ｋ１５１－２０工事		
施工地名	大館市比内町扇田		
商号又は名称	平和建設株式会社	許可番号	05-001945
請 負 額	46,966,500 円	工種・格付	一般土木　Ａ級
代 表 者	代表取締役　菊地 建一		
監理技術者等	現場代理人　渡邉 清志		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	青山 尚之	監 督 員	千葉 雄大
工　　期	平成25年5月31日～ 平成25年12月6日	完成年月日	平成25年12月6日
概　　要	１）橋台工（Ａ１橋台）　N=1基 ２）ＲＣ橋脚工（Ｐ１橋脚）　N=1基		
特　　徴	１）場所打杭基礎工を含む重要構造物の施工 ２）並行施工による施工業者間の工程調整が重要		

写　　　真

完成

場所打杭工　杭頭処理完了

高校生インターンシップ測量実習

◆発注公所の表彰理由

・当工事は出水期の河川敷内において深度のある土留・仮締切りを行い、場所打杭を含む重要構造物を施工するなど、高度の施工管理及び安全管理を要するものであった
・大型機械の搬入路が狭隘で注意を要するなか、地域からの苦情等もなく、無事に工事を完了させた

◆施工業者からのＰＲ

・当現場は、重要構造物の施工に加え厳しい現場条件（掘削深９．０ｍの土留工）のため、施工計画の立案が重要と考え、工程計画、仮設計画、大型重機搬入計画、コンクリート品質の向上、安全管理など施工管理全般にわたり留意し施工しました
・度重なる出水被害により工程の見直しを行い、無事に、無事故、無災害で工期内完成することができました
・今後も本受賞を励みに更なる技術力の向上、地域貢献に努力して参ります

７　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	岩館漁港 漁港施設災害復旧事業 ２４Ｄ５－６工事		
施工地名	八峰町岩館		
商号又は名称	大森・伊藤羽州特定建設工事共同企業体		
請 負 額	236,190,150 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	大森建設株式会社　代表取締役　大森 三四郎		
許可番号	00-024641	監理技術者等	現場代理人　池田 正広
（構 成 員）	株式会社伊藤羽州建設　代表取締役　石山 清武		
（許可番号）	05-020143	（監理技術者等）	主任技術者　東海林 友輝
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	豊田 聡	監 督 員	藤本 賢
工　期	平成24年10月25日～ 平成25年5月31日	完成年月日	平成25年5月22日
概　要	１）復旧延長 西防波堤 L=97.0m、西護岸 L=37.0m テトラポッド64t製作・据付N=175個、40t製作N=7個・据付N=12個		
特　徴	１）厳冬期における消波ブロック製作の品質向上対策 ２）災害復旧特有の既設ブロックとのかみ合わせ対策		

写　真

完　成

消波ブロック専用養生シート

消波ブロック64t据付

◆発注公所の表彰理由

・消波ブロック製作は、冬期間での厳しい作業であったが、生コン輸送中の温度低下の防止として、ミキサー車ドラム部に保温カバーの装着や、消波ブロック専用養生シートを使用し、適切な養生管理を行った
・東日本大震災の復旧工事に伴い、作業用船舶の確保が憂慮されている折、標準機種を上回る自社の大型起重機船（３００ｔ）を使用して、強固に組み合った既設ブロックの据え直しを行い、新規ブロックとのかみ合わせが堅固となるよう作業を行った
・気象予報会社と契約を行い、現場の波浪関連情報をリアルタイムに把握し、工程管理に反映することで、海上工事を安全に完成した

◆施工業者からのＰＲ

・当現場は岩館漁港と近接し、工事期間中はハタハタ漁など盛んな時期も含まれたので、第三者及び地域のトラブル等を防止するため、工事着手前に岩館漁協組合並びに、地元の自治会との打ち合わせを行いました
・地域住民に工事案内紙を配布して地域との連絡調整を図り、理解と協力を得てトラブルなく完成することができました
・冬の厳しい施工条件の際にも監督職員はじめ、協力会社・関係者の皆様からご指導・ご協力を賜り、心より感謝致します
今後も技術の向上及び安全管理を徹底して、地域社会に貢献できるように努力してまいります

８　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道１０１号）２４－ＨＦ１３１－７０工事		
施工地名	能代市須田		
商号又は名称	西村土建株式会社	許可番号	05-000281
請 負 額	85,483,650 円	工種・格付	ほ装　Ａ級
代 表 者	代表取締役社長　能登 信一		
監理技術者等	現場代理人　渡部 哲也		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	米澤 真一	監 督 員	長谷川 重昭
工　期	平成25年3月30日～ 平成25年12月20日	完成年月日	平成25年12月19日
概　要	１）施工延長 L=473m、幅員 W=6.5(9.5)m ２）舗装工 A=4,850㎡、防雪柵工 L=168m、区画線工 N=一式		
特　徴	１）出来形、品質向上への積極的な取り組み ２）交通量の多い国道工事における安全対策の徹底		

写　　　真

完成(航空写真)

クラック防止シート設置状況

現道取付部における安全管理

◆発注公所の表彰理由

・本工事は国道１０１号の能代市内におけるバイパス道路と現道取付部の舗装工事である
・約２５０ｍの現道部の舗装工事においては自主的にクラック防止シートを施工するなど品質向上に努めるとともに、日交通量９，０００台の供用中の国道において安全管理を徹底した施工に取り組んだ

◆施工業者からのＰＲ

・防雪柵の基礎H鋼材１５０mmは設計長＋５０ｃｍとし、Ｈ鋼をＴ型に切断しエーパイラーで打設後＋５０ｃｍ部分を切断して打込み高さとし、傾斜はデジタル水平器で数値を確認し管理した
・舗装完了後、バイパス道路への切替まで、車両誘導保安施設（電光板・ＬＥＤ矢印板・ＬＥＤ回転灯・ＬＥＤ工事灯・トラチューブ巻バリケード）を設置し、交差前後のライン施工は切替直前とし、一般通行車両の事故防止に努めました
・ご協力いただいた地域及び通行車両の皆様、監督職員の皆様方への感謝の気持ちを忘れず、更なる品質・安全の向上、地域社会への貢献を目指し努力します

９　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道１０１号）２４－ＨＦ１３１－６０工事		
施工地名	能代市須田		
商号又は名称	北部建設株式会社	許可番号	05-000726
請 負 額	84,601,650 円	工種・格付	ほ装　Ａ級
代 表 者	代表取締役社長　北林 孝		
監理技術者等	現場代理人　渡辺 孝美		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	米澤 真一	監 督 員	長谷川 重昭
工　　期	平成25年3月30日～ 平成25年12月20日	完成年月日	平成25年12月19日
概　　要	１）施工延長 L=760m、幅員 W=6.5(9.5)m ２）舗装工 A=7,750㎡、区画線工 N=一式		
特　　徴	１）出来形、品質向上への積極的な取り組み ２）完成後の維持管理を考慮した工事内容の提案		

写　　　　真

完成（航空写真）

自動制御装置による舗装状況

ブロックマット設置状況

◆発注公所の表彰理由

・本工事は国道１０１号の能代市内におけるバイパス道路の舗装工事である
・平坦性向上のため自動制御装置付きアスファルトフィニッシャにより施工し、出来形、品質向上（平坦性１．０mm以下）に取り組んだ
・路外盛土部の舗装時における防草シート設置や、隣接する沼地の降雨後の湛水による路肩法尻部の土砂流出や盛土法面保護のためブロックマットの設置を提案するなど、完成後の維持管理を見据えた様々な工事内容の提案を積極的に行った

◆施工業者からのＰＲ

・本工事は大型車両の出入り口のない区間であり隣接工区を利用させて頂くため、安全協議会による連絡・工程調整等の打合せを密に行い、施工を行った
・本工事の舗装構成の上層路盤から表層までの計３層に於いて自動制御装置付きアスファルトフィニッシャを使用し平坦性の向上に努めた
・舗装施工時には自社プラントとの連絡を密にし、Ａｓ合材の連続供給を行い、舗装の品質確保に努めた
・今後も更なる品質・技術の向上を図り、努力致します

１０　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道１０１号）２４－ＨＦ１３１－５０工事		
施工地名	能代市須田		
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	00-024641
請 負 額	94,588,200 円	工種・格付	ほ装　Ａ級
代 表 者	代表取締役　大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人　金平 康弘		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	米澤 真一	監 督 員	長谷川 重昭
工　　期	平成25年3月30日～ 平成25年12月20日	完成年月日	平成25年12月20日
概　　要	１）施工延長 L=540m、幅員 W=6.5(9.5)m ２）舗装工 A=5,640㎡、防雪柵工 L=143m、区画線工 N=一式		
特　　徴	１）出来形、品質向上への積極的な取り組み ２）バイパス供用に向けた交通事故防止運動の実施		

写　　　真

完成(航空写真)

乳剤散布の工夫

交通事故防止キャンペーン

◆発注公所の表彰理由

・本工事は国道１０１号の能代市内におけるバイパス道路の舗装工事である
・隣接する住宅密集地に配慮しながら安全確保に努めるとともに、基層舗設後、工事用車両のタイヤにアスファルト合剤が付着して周辺道路を汚すことのないよう、付着防止効果のある乳剤を使用するなど品質向上に取り組んだ
・バイパス供用後、通過車両の旅行速度上昇が予想されたため、能代警察署の協力のもと供用前に現地において、交通事故防止のキャンペーン運動を実施するなど、完成後の良好な交通環境の維持についても積極的に取り組んだ

◆施工業者からのＰＲ

・工事施工前に地元自治会とコミュニケーションを図るため、工事説明会を実施し、工事への理解を求め、苦情等の無いよう工事を進めました
・工事起点部の施工は、片側交互通行で行うことが困難であったため、迂回路を設置し現道を迂回させてから工事起点部の施工を行い、事故防止に努めました
・表層の平坦性が重要なポイントと考え、アスファルトフィニッシャに自動制御装置を設置し平坦性の向上を図りました
・地域住民、監督職員、関係各位の皆様には、心より御礼を申し上げるとともに、今後も更なる品質・技術向上を図り、地域への貢献に努めて参ります

１１　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

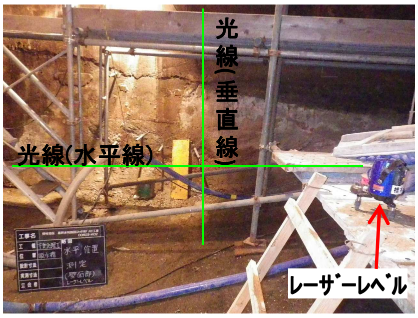
◆工事概要

工 事 名	野村地区 基幹水利施設ストックマネジメント事業 ００６０３－Ｋ０２工事		
施工地名	潟上市昭和大久保		
商号又は名称	株式会社板橋組	許可番号	05-001354
請 負 額	13,950,300 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人　進藤 仁		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	石井 崇	監 督 員	畠山 将志
工　　期	平成26年1月10日～ 平成26年3月20日	完成年月日	平成26年3月20日
概　　要	１）揚水機場施設（吸水槽）補修工 N=1式		
特　　徴	１）老朽化した吸水槽へのＦＲＰＭ（強化プラスチック複合板）パネルの貼付け		

写　　　　真

吸込み部(現況)

吸込み部(完成)



ﾚｰｻﾞｰﾚﾍﾞﾙによるﾊﾟﾈﾙ割付調査

◆発注公所の表彰理由

・本工事区域は地下水位が高く、補修対象である老朽化した吸水槽には、導水管の継ぎ目等から断続的に不測の流水が浸入してくる悪条件であったが、導水管の上流部に独自に複数の止水板を設置するなどの工夫により、良好な現場環境の確保に努めた
・水替え後に確認された水槽底部の大量のヘドロの処理に当たっても、迅速なバキューム処理の対応により、工事工程に支障の無いように努めている
・新工法のパネル補修においては、会社独自で技術研修会を行い、貼り付け材の割付の工夫により、良好な出来映えとなっている

◆施工業者からのＰＲ

・吸水槽内の漏水処理の工夫・・・壁面に塩ビパイプ等で配管させながら排水処理を施すことにより、下地調整モルタルを均一に仕上げることができ、その結果、パネル設置の継目を段差なく仕上げることが出来ました
・仮設計画についての工夫・・・足場幅を広めに組立てることで、安定した姿勢で作業が出来るように工夫し、上部養生屋根においては養生シートが飛散しないように単管パイプ及びアルミ足場材にて堅固な屋根とし、材料の破損や汚れなどの品質低下の防止に努めました
・安全対策等の工夫・・・冬期間、積雪などで現場周辺の通行に支障が生ずると思われ、常に天候情報を収集しながら、除雪や凍結防止材散布を行い、運搬車両等の接触事故防止に努めました

１２　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	仁井田下堰地区 農業水利施設長寿命化対策支援事業 ０２７０３－Ｋ０１工事		
施工地名	秋田市仁井田		
商号又は名称	中田建設株式会社	許可番号	00-002898
請 負 額	70,860,300 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役社長　広幡 信悦		
監理技術者等	現場代理人　伊藤 憲太郎		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	舘岡 剛正	監 督 員	佐藤 寛之
工　　期	平成25年9月13日～ 平成26年3月25日	完成年月日	平成26年3月25日
概　　要	１）水路工 L=277.5m 大型フリューム Ｂ２４００×Ｈ１２００		
特　　徴	１）交通量の多い市道に沿った水路工事の交通安全対策の徹底		

写　　　　真

完　成

大型フリューム据付状況

安全管理

◆発注公所の表彰理由

・本工事は老朽化した水路を取り壊し、大型フリューム水路に改修する工事である
・交通量が多い市道と民家に隣接し、作業の振動による建物への影響、市道に於ける交通安全対策等、細心の配慮が要求される厳しい条件下であったが、現場、会社の施工体制、管理体制が適切に行われ、地域からの苦情・事故を生じさせることなく完成させた
・冬期間の厳しい天候状況での工事にもかかわらず、良好な出来映え・品質が確保された

◆施工業者からのＰＲ

・冬期の厳しい作業環境、交通規制による作業時間制約など施工制限がある中で、最大限の効率を上げるよう、地元土地改良区、地域住民とのコミュニケーションを積極的に行いました
・品質確保の為、コンクリート打設後の加熱養生を確実に実施、また現場打ち箇所のプレキャスト化（大型フリューム異形）を行い、作業工程の向上を図りました
・本工事施工箇所は、交通量が非常に多く、特に交通災害防止に万全を期し、無事完工させることができました
・監督職員はじめ関係各位の御指導、御協力に心より感謝を申し上げると共に、本受賞を励みとして施工技術、安全及び品質管理の更なる向上に精進し、社会に貢献していきたいと思います

１３　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	昭和豊川地区 農地集積加速化基盤整備事業 ０４３０１－Ｋ０５工事		
施工地名	潟上市昭和豊川		
商号又は名称	秋田瀝青建設株式会社	許可番号	05-001353
請 負 額	70,178,850 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　斉藤 豊隆		
監理技術者等	現場代理人　鎌田 孝紀		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	福司 健治	監 督 員	石井 源直
工　期	平成25年3月29日～ 平成25年12月20日	完成年月日	平成25年12月12日
概　要	１）区画整理工 A=9.3ha		
特　徴	１）一般的な地区と比較して地形勾配が1/200程度と急峻な状況における区画整理工事		

写　真

着工前

完成

施工状況

◆発注公所の表彰理由

・本施工業者が安全協議会の幹事役として、他４工区の業者及び地元関係者等との連絡調整を図ることにより、全工区において円滑に工事を進めることができた
・基盤整地における品質向上対策として、「レーザーマシンコントロールシステム搭載」の超湿地ブルドーザを使用することにより、ほ場の均平度を規格値の５０％以内に収めることができた
・施工中に集中豪雨・台風による冠水の被害を受けたが、迅速な排水対策・現状復旧により工期前に完成することができた

◆施工業者からのＰＲ

・中学校・高校・大学よりインターンシップを受入れ、学生達の就職活動へのサポートに率先して取り組んでおります（過去５年間インターンシップで当社に来た学生のうち５名の採用実績有り）
・消防士を招いてＡＥＤの使用法及び心肺蘇生法についての講習会を開いて万一に備えました
・河川が隣接している為、オイルフェンス一体型の発電機を使用し油漏れによる水質汚染を防止しました
・集中豪雨時、民家の入口に土のうを積み、浸水防止に協力しました

１４　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

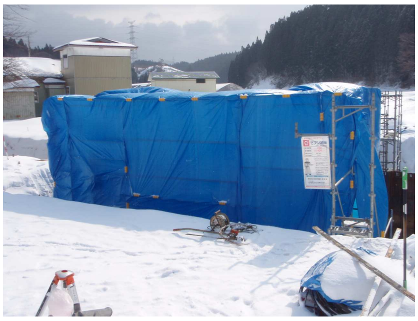
◆工事概要

工　事　名	昭和豊川地区 農地集積加速化基盤整備事業 ０４３０２－Ｋ０１工事		
施工地名	潟上市昭和豊川		
商号又は名称	マルト建設株式会社	許可番号	05-003973
請　負　額	21,496,650 円	工種・格付	一般土木　Ａ級
代　表　者	代表取締役　山平 重明		
監理技術者等	現場代理人　嶋﨑 征央		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	福司 健治	監　督　員	石井 源直
工　　期	平成25年11月22日～ 平成26年3月20日	完成年月日	平成26年3月20日
概　　要	１）橋梁下部工 N=1式 ２）橋梁上部工(製作) N=1式		
特　　徴	１）他のほ場整備工区内における橋台工事 ２）河川幅の狭い所の橋台と護岸ブロック工事		

写　　　　真

施工前

完成


養生状況(鉄筋･型枠組立用足場)

◆発注公所の表彰理由

・本工事はほ場整備工区内における橋梁工事（下部工・上部工）であるが、仮設鋼矢板の施工にあたっては、低振動の「サイレントパイラー」を使用することにより近隣家屋への影響に配慮した
・施工時期が冬期と厳しい環境であったが、コンクリートの品質管理や鉄筋・型枠組立に細心の注意を払う一方、隣接する他のほ場整備工区業者との工程調整を行い、工事の円滑化を図ることにより、良好な出来映えと品質を確保した

◆施工業者からのＰＲ

・冬期の工事で積雪量も多く、融雪水による増水が心配される厳しい状況であったが、仮設鋼矢板と施工の工夫により、左右岸平行して施工ができ、常に適切な工程管理と品質管理を実施し、工期内で工事を完成した
・厳しい時期のコンクリート打設であったが、打ち継目のレイタンス除去、温度管理はおんどとりを使用し、コンクリートの品質確保の向上に努めた
・出入口付近は除排雪を行い、一般車両と地域住民の安全確保に留意したほか、工事についても地域住民に説明し、理解と協力が得られるよう取り組んだ
・早い日没等で視界が悪く、見張員はもとより、重機械にはバックモニター付を使用し、作業事故防止に努めた

１５　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	男鹿東１期地区 基幹水利施設ストックマネジメント事業 ０２００２－Ｋ０１工事		
施工地名	大潟村大潟他		
商号又は名称	株式会社清水組	許可番号	00-011421
請 負 額	97,613,250 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役社長　清水 重輝		
監理技術者等	監理技術者　佐々木 義嗣		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	舘岡 剛正	監 督 員	吉田 雄
工　期	平成25年10月11日～ 平成26年3月25日	完成年月日	平成26年3月25日
概　要	１）道路横断暗渠工 N=3箇所 ２）27号（φ2000 L=27.0m×3連）、31号（φ2600 L=30.0m×1連）、128号（L=44.0m×1連）		
特　徴	１）冬期間の施工及び点在する工事箇所における適切な工程管理 ２）軟弱層を改良すること等による、施工性向上及び品質向上対策		

写　　　真

完成（27号横断暗渠）

軟弱層のセメント改良

仮締切の補強

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、国営干拓事業で造成された支線排水路に設置されている道路横断暗渠の改修工事であり、施工時期が冬期間に限定されているほか、工事箇所が点在するという厳しい施工条件にあったが、適切な施工管理及び工程管理を行い、工期内に工事を完了させた
・当地区は海抜ゼロメートル地帯で地盤が軟弱な状況であり、さらに暖冬のため施工期間に融雪による増水もあったが、受注者の創意工夫により、セメントによる軟弱層の改良を行ったり、仮締切の大型土のうを補強することで、施工性向上や、本体工の品質向上に努めた

◆施工業者からのＰＲ

・本工事においては、「工期が限定されている・工事個所が点在する」という条件が最も懸念される事項であった
さらに、東日本大震災の影響で県内では人材および重機が不足していたが、当社の県外所属職員を従事させ、県外の取引業者からも重機をリースし工期内完成に向けて万全の施工体制を整えた
・工期内完成に向けて工事遅延のリスクを回避するため、除雪用ローダーを常駐させ作業開始時間前に現場までの通路を確保、２４時間運転させていたポンプの点検を毎日行い故障がないように配慮する等々の対策を行い、トラブルによる不稼働日を発生させずに工事を完了させた

１６　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	新堤地区 ため池等整備・ため池事業 ００２０３－Ｋ０１工事		
施工地名	由利本荘市大水口		
商号又は名称	山勇建設工業株式会社	許可番号	05-001166
請 負 額	100,470,300 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　猪股 榮助		
監理技術者等	現場代理人　小野 利広		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	畠山 欣也	監 督 員	岩沢 竜太
工　　期	平成24年10月12日～ 平成25年5月31日	完成年月日	平成25年5月31日
概　　要	１）洪水吐工 L=61.3m、底樋工 L=67.6m、工事用道路 L=78.3m		
特　　徴	１）洪水吐が曲線状であり、型枠・鉄筋等の施工に高度な技術を要する ２）厳しい気象条件下におけるコンクリートの打設管理		

写　　　　　真

洪水吐（上流側）

洪水吐及び底樋（下流側）

バイオログフィルター設置（沈砂池）

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、新堤地区のため池改修に伴う、洪水吐及び底樋工の工事である
・洪水吐工は曲線状の構造物で、型枠、鉄筋の施工に高度な技術力を要する
・燃料流出防止対策、汚濁水流出防止対策としてＮＥＴＩＳ登録の機械を使用するなど、新技術を活用した環境への配慮に積極的である
・森づくりボランティアに参加するなど、地域貢献活動も評価できる

◆施工業者からのＰＲ

・汚濁水流出防止対策として、洪水吐工下流に沈砂池を設置し、その中間部に「バイオログフィルター」（環境配慮型汚濁水処理フィルター工法）を使用して濁水軽減し下流河川の生態系への影響を防止した
・洪水吐工の冬期コンクリート養生に躯体の大きさを考慮して、ジェットハーネス式（ダクト配管式温風設備）にて躯体全体の養生効率をアップし品質向上を図りました
・冬期施工の暴風雪対策として、防風ネットを足場外周に施し、作業場の環境改善を実施した

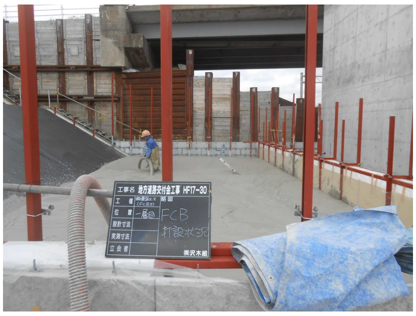
１７　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道１０７号）２４－ＨＦ１７－３０工事		
施工地名	由利本荘市御門		
商号又は名称	(株)沢木組・(株)村山組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	180,191,550 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	株式会社沢木組　代表取締役　沢木 則明		
許可番号	05-005082	監理技術者等	現場代理人　山口　保成
（構 成 員）	株式会社村山組　代表取締役　村山 拓		
（許可番号）	05-000175	（監理技術者等）	主任技術者　伊藤　崇規
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	齊藤 一人	監 督 員	薄田 智英
工　　期	平成24年8月27日～ 平成25年6月28日	完成年月日	平成25年6月21日
概　　要	１）施工延長 L=214.825m ２）軽量盛土工　発砲スチロールブロック V=2,391m^3、 気泡混合軽量土 A=1,342㎡、補強土壁工 L=477m		
特　　徴	１）国道１０７号（本荘道路）拡幅部における、軟弱地盤上の軽量盛土等の工事である		

写　　　　真

軽量盛土施工状況



気泡混合軽量土施工状況

完成写真

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、由利本荘市街地における、軟弱地盤上の軽量盛土等の工事である
・通常の盛土部における品質確保のため、事前に試験施工を実施し、撒き出し厚さ及び転圧回数を決定しているほか、施工には大型の振動ローラーを使用するなど、締固めの品質確保に工夫がみられる
・冬期間の施工となったが、コンクリート養生には降雪や強風に耐えうる雪囲いを使用するなど、良好な品質確保のための取組がなされている

◆施工業者からのＰＲ

・本工事は軟弱地盤上の盛土工事が主体であり、盛土の品質の確保を重点に取組んだ
・盛土箇所の最下部に暗渠排水溝を設け、さらに盛土の進捗に伴い縦排水溝を設置し、適切な含水比の確保に努めた
軽量盛土と通常盛土の接触箇所の転圧には、ハンドガイドローラーとコンバインドローラーを併用使用し入念に締固めを行い、不等沈下防止に努めた
盛土工事として良質な品質の確保が図れた

１８　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

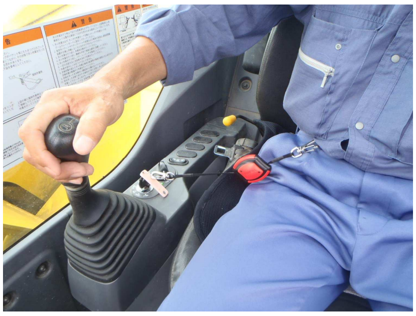
◆工事概要

工 事 名	中仙中央地区 農地集積加速化基盤整備事業 ０４６０１－Ｋ１５工事		
施工地名	大仙市清水		
商号又は名称	有限会社藤澤技建	許可番号	05-012373
請 負 額	39,053,700 円	工種・格付	一般土木 Ｂ級
代 表 者	代表取締役　藤澤 昇		
監理技術者等	主任技術者　小山 善明		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	穴倉 利裕	監 督 員	渡部 紘宣
工　　期	平成25年3月29日～ 平成25年12月20日	完成年月日	平成25年11月25日
概　　要	１）区画整理工 A=8.7ha		
特　　徴	１）軟弱地盤内での基盤の切盛・均平作業 ２）安全対策の徹底		

写　　　　真

完成写真

シートパイルによる整地



重機事故防止の徹底

◆発注公所の表彰理由

・基盤の切盛作業において、一部に軟弱地盤が見られたが、バックホーによる切土や比較的良好な地盤での押土作業を行うなど基盤の泥濘化防止に努めた
・基盤整地においても、泥濘化しないよう基盤の乾燥状態をコーン支持力で確認しながら行うとともに、長尺のシートパイルを使用することで均平度を規格値の５０％以内におさえるなど品質の向上にも努めている
・「工事のお知らせ」を配布し地域住民とのコミュニケーションを図るとともに、新規入場者には一定期間腕章を装着させ、他の作業員による監視を強化し安全を確保したほか、伸縮性の紐で重機の鍵とオペレーターを一体化し、鍵の置き忘れ防止、エンジン停止の徹底等安全対策に努め、無事故で工事を完成させた

◆施工業者からのＰＲ

・工事の進捗を見守ってこられた監督職員・土地改良区・受益者の皆様が安心・信頼・満足できる工事を目指し施工してきた中で、トラブルもなく無事故で工期を短縮し工事を完成することができました
・機械の運転手が整地工事の経験が豊富で、軟弱地盤の施工工法にも精通した熟練者であった事が高品質な完成に多いに寄与したと思います
・常に創意工夫と技術の向上に励み、品質の良い工事をより安全に完成させ地域社会に貢献していきたいと思います

１９　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	中仙中央地区 農地集積加速化基盤整備事業 ０４６０１－Ｋ１３工事		
施工地名	大仙市清水		
商号又は名称	株式会社沢野建設	許可番号	05-004045
請 負 額	60,390,750 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　澤野 ノリ子		
監理技術者等	現場代理人　明平 隆光		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	穴倉 利裕	監 督 員	渡部 紘宣
工　　期	平成25年3月29日～ 平成25年12月20日	完成年月日	平成25年12月16日
概　　要	１）区画整理工 A=9.5ha		
特　　徴	１）他工区に囲まれた区域での工事 ２）地域の生活、安全に配慮		

写　　　　真

完成写真

発電機設置状況

規制看板

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、他工区に囲まれた区域であり、他工区との工程調整の結果、工事区域内の降雨排水並びに生活用水の確保が必要となったが、長期にわたりポンプによる排水、用水確保を行い、地域住民の生活に影響を与えることなく工事を完成させた
・工区周辺に規制看板を設置するなど、地域の安全に配慮した対策を実施した
・工区に隣接する農道の敷砂利の補修や工事看板に地元の行事のＰＲ看板を設置するなど、地域貢献活動を積極的に実施している

◆施工業者からのＰＲ

・施工区域の真ん中に残された電柱（架空線）保護の為、脱着が簡単な洗濯バサミに蛍光テープを結び付け、電線の最下であった電話線に設置し、架空線の切断防止に努めました
・用水路の目地にコーキング施工し、目地のひび割れ防止をすると共に、横断管渠流入部にスクリーンを設置し、落葉などのゴミ詰まり防止をし、品質及び長寿命化に努めました
・当現場の汚濁水は主要河川へ流れて行く為、排水路流末に洗い砂利を詰めた網袋を積み、沈殿槽を２槽式に設け、汚濁水の流出防止に努めました
・当現場では、用水路の基礎砂の代替としてガラス造粒砂を使用し、リサイクル製品利用に積極的に取組みました

２０　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方特定道路整備事業（神岡南外東由利線）Ｉ３２７－３０工事		
施工地名	大仙市南外外小友		
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請 負 額	23,092,650 円	工種・格付	ほ装　Ａ級
代 表 者	代表取締役　宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人　畠山 精		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	長谷川 丘	監 督 員	清水 陽子
工　　期	平成25年9月9日～ 平成25年11月29日	完成年月日	平成25年11月29日
概　　要	１）施工延長 L=677.0m ２）切削オーバーレイ・舗装打換工 A=4,940㎡		
特　　徴	１）現道舗装工事		

写　　　真

完成状況

路面切削機による舗装版剥ぎ取り作業

現場周辺のクリーンナップ、歩道除草作業

◆発注公所の表彰理由

・本工事は狭隘道路部における舗装改修工事であり、施工にあたっては隣接する民家や道路交通への配慮が特に必要とされたため、舗装版剥ぎ取り作業に路面切削機を使用し路盤面露出期間を短縮する事により、粉塵や飛び石事故などの抑制に努めた
・バックセンサー搭載型機械の使用による第三者災害防止を含めた安全対策の実施や、現場周辺の除草作業などの環境美化活動へも積極的に取り組んだ
・舗装時に超音波センサーや混合物供給量自動制御装置を使用することにより、路面平坦性の向上を図るなどの出来形・品質向上への取り組みも行った
・これらの対策により、工事に対する苦情等もなく、良質な出来映え・品質が確保された

◆施工業者からのＰＲ

・作業に当たっては近隣住民の方々と積極的にコミュニケーションをとりながら安全確保に努め、工期の短縮を図るよう努力しました
・クラック防止シートの防水性を高めたり、案内標識柱の既設アンカーに防錆処理を行うなど、細部においても完成後の長寿命化を考えた施工を行ったほか、使用資材に環境安全性に優れた製品を選定して周辺環境にも配慮しました
・舗装工では初めての受賞ですが、引き続き同工種でも高い評価を得られるよう全社を挙げて努力して行きたいと思います

２１　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

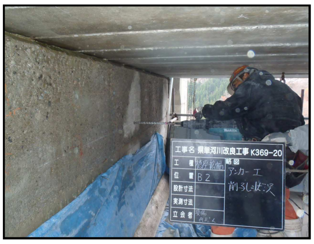
工 事 名	県単河川改良事業（玉川 鎧畑ダム）Ｋ３６９－２０工事		
施工地名	仙北市田沢湖田沢		
商号又は名称	佐藤建設株式会社	許可番号	05-002576
請 負 額	13,742,400 円	工種・格付	ほ装　Ａ級
代 表 者	代表取締役　田村 保		
監理技術者等	現場代理人　佐々木 忍		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	高橋 信義	監 督 員	小松 克幸
工　　期	平成25年9月17日～ 平成26年3月24日	完成年月日	平成26年1月17日
概　　要	１）ダム管理橋補修 N=3橋（L=7.3m、W=4.5m）　２）舗装打ち替え ３）伸縮装置取替　４）壁高欄断面修復 ５）床版断面修復表面保護　６）橋座拡幅		
特　　徴	１）閉塞された場所へのコンクリート打設等（既橋座拡幅） ２）仮設足場（アンカー吊り）の安全確保		

写　　　真

ダム上流遠景

完成写真
舗装工

完成写真
橋座拡幅



アンカー
削孔状況

◆発注公所の表彰理由

・本工事はダム放流ゲート直上に架かる昭和３２年完成の管理橋(コンクリート床版橋)の補修工事で、概要は橋座拡幅や床版下面の欠損部補修やひび割注入補修、含浸防水材塗布等である
・ダム橋下流側はゲート扉体が邪魔しアクセス不可能、そのうえ桁下の作業クリアランスが狭く、資材搬入、施工が全てダム橋上流側からしか出来ない閉塞空間での施工が条件となる困難な現場であった
・課題を克服するため、コンクリート打設方法や仮設工の選定について比較検討し、長所・短所を整理し、施工方法や材料をベストチョイスして監督員に提案し安全な作業と品質向上に努め、その結果、工事進捗が向上し気候が良い時期に施工でき、良好な品質確保と早期完成を実現した

◆施工業者からのＰＲ

・鎧畑ダム放水ゲートに掛かる管理橋の補修工事であるため、危機管理上の面から放水ゲートの開閉に支障の無い足場工の施工が重要でしたが、工事着手から入念な照査を実施して最適な施工方法を確立させたことで工程の遅れもなく、大幅な工期短縮に繋がりました
・品質向上と、長寿命化を図るための工法（材料）を提案し実施しました
・技術的要素が多い現場でしたが、施工性と品質向上に要点を絞り施工を行いました
・橋座の拡幅工では高流動コンクリートによる施工を行い、当初困難であると思われた構造物の打設も品質を確保し、寒冷期前に施工を終えることができました

２２　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工　事　名	流域治水対策事業（桧木内川 田沢湖工区）ＫＡ１９－７０工事		
施工地名	仙北市西木町西明寺		
商号又は名称	畠山・協業経常建設共同企業体		
請　負　額	52,086,300 円	工種・格付	一般土木　Ａ級
代　表　者	株式会社畠山建設工業　　代表取締役　畠山 隆太郎		
許可番号	05-002018	監理技術者等	現場代理人　門脇 清美
（構　成　員）	有限会社協業建設　　代表取締役　酒出 四郎		
（許可番号）	05-008396	（監理技術者等）	主任技術者　渡部 大
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	天野 徹	監　督　員	築瀬 秀樹
工　　期	平成25年3月29日～ 平成26年3月20日	完成年月日	平成26年3月20日
概　　要	１）施工延長 L=62.9m ２）自然石張護岸工 A=539㎡		
特　　徴	１）田沢湖畔の県立自然公園内の工事で水位に工事施工時期が制限される ２）仮設方法の工夫		

写　　　真

完成写真

軽量覆工板

工事案内看板

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、田沢湖畔の浸食対策のための護岸工事である
・田沢湖岸の工事にあたり、施工できる水位に低下するのが１１月末から３月末と制約を受けることや、背後が県道で施工スペースが狭隘であるなどの条件下において、仮設方法等に工夫を凝らし良質な出来形と品質を達成した
・今回の一連の田沢湖護岸工事にあたり設立した安全協議会にも積極的に参加し、付近住民の老人宅を除雪するなどボランティア活動を行った

◆施工業者からのＰＲ

・ＣＡＤ図面より座標変換してすべての変化点毎に座標管理を行い、規格値の５０％以内を目指して出来形管理を行った
・観光地の中での工事であるため、案内看板を田沢湖沿線３箇所に設置し、観光客・第三者に対して工事箇所を明示した（安全協議会による）
・狭いところでも軽量覆工板を使用することによって、袋詰め石・吸出しマットを破損することなく重機の足場を確保することができたので、工程の短縮・品質の確保につながった
・現場全体が一目瞭然となるようラジコンヘリを使用し、田沢湖上空から完成写真を撮影した

２３　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	亀福(二期)地区 公害防除特別土地改良事業 ００２０５－Ｋ０１工事		
施工地名	横手市増田町		
商号又は名称	株式会社最上田組	許可番号	05-006460
請 負 額	87,516,450 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　最上田 政司		
監理技術者等	現場代理人　佐々木 学		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	田上 文啓	監 督 員	新林 公平
工　　期	平成25年5月28日～ 平成25年12月10日	完成年月日	平成25年12月10日
概　　要	１）客土工 A=3.4ha		
特　　徴	１）客土材運搬における事故防止と第三者への配慮 ２）工事現場に隣接する果樹園への土ホコリ対策と地元への配慮		

写　　　　　真

客土工事完成状況

水路溝畔に植生ﾔｼﾏｯﾄを施工し土砂流出を防止
（自発的施工です）

GPS機能付ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾚｺｰﾀﾞｰ取付で
交通安全対策

サクランボ・リンゴへの砂塵飛散防止のため運搬路をこまめに散水

◆発注公所の表彰理由

・片道24.5kmの運搬距離で約9,700m^3（大型ダンプ延べ2000台）の客土材を運ぶ作業において、速度制限ステッカーを貼り、ＧＰＳ機能付きドライブレコーダーを取り付けて運搬時の交通安全対策を図ったほか、第三者の安全に配慮し運搬ルートの変更を提案し、交通誘導員配置の節減も図った
・工事期間中は運搬ルートの散水を行い土ホコリの飛散防止や、タイヤに付着した土を除去し路面の汚れ防止に努めるなど、きめ細かな対応により、果樹農家からも感謝された
・降雨対策としての水切り作業や整地における精度向上の工夫、水路溝畔や畦畔法面の浸食防止対策としてのヤシマットの自発的施工など品質向上対策に取り組んだ
・高校生を招いた現場見学会を開催するなど農業農村整備事業のＰＲに努めた

◆施工業者からのＰＲ

・客土材運搬に伴う交通事故災害防止が重要な課題であったため、社内より安全責任者を選任して積載重量のチェックや運行ルートのパトロールを徹底したほか、ドライブレコーダーの記録を基に運行管理を行い１０ｔダンプトラックの安全走行を指導したことで、無事故で完工することができた
・隣接する樹園地への土ボコリ飛散防止対策として、軽トラックの荷台に散水設備を取付けて細やかに散水するとともに、水中ポンプによる路面湿潤等により低コストな砂塵飛散防止を実現した
・雨水等による畦・溝畔の浸食防止を目的として植生ヤシマットによる法面保護を実施したほか、用水路の取水口に取付式分水栓を設置して営農者の利便性を図り、品質向上に取組んだ

２４　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

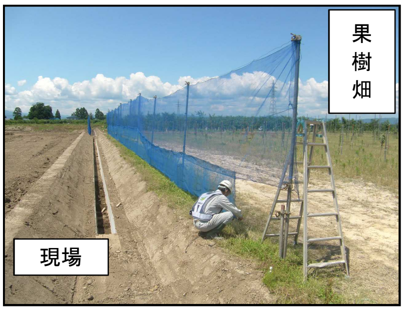
◆工事概要

工 事 名	栄南部地区 農地集積加速化基盤整備事業 ０４７０１－Ｋ０２工事		
施工地名	横手市外目		
商号又は名称	有限会社泉谷土木	許可番号	05-008036
請 負 額	80,469,900 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　泉谷 富夫		
監理技術者等	現場代理人　柴田 誠		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	齋藤 卓也	監 督 員	伊藤 隆史
工　　期	平成25年3月19日～ 平成25年12月16日	完成年月日	平成25年11月26日
概　　要	１）区画整理工 A=6.4ha		
特　　徴	１）整地完了後の転作を控えた工期の制約と地元への配慮 ２）大区画ほ場における整地精度の確保		

写　　　　真

完成状況

プレキャスト製品桝で
品質向上･工期短縮



防塵ネットでリンゴの
粉じん被害を防止

◆発注公所の表彰理由

・整地の完了を予定工期で終えるためには、大型の排水路施工を早期に終えることが必須であったため、日数を要する大型の現場打ち桝をプレキャスト製品桝で施工し、工期を短縮するとともに品質向上を図った
・田面排水処理での溝きり機械の工夫や、キャタピラによる凹凸をなくすためシートパイルを使用しての整地作業により均平の精度を規格値の５０％以内で仕上げ、地元からも品質において高い評価を得た
・環境への配慮としてＮＥＴＩＳ登録の発電機・バックホーの使用や、排水本線である吉田幹線排水路にオイルフェンスを設置したほか、果樹への粉じん被害を防止するため防塵ネットを施工し果樹農家から感謝された
・工事着手前の安全祈願祭の準備作業や受益農家への工事進捗のお知らせなど、地元と円滑な関係で施工できた

◆施工業者からのＰＲ

・当地区は、地区外より排水が流入している路線があり早期に排水路施工を可能にするため、仮排水路を設置し、法面にはビニールフィルムを張って法面崩壊防止を図りました
・出来形及び出来ばえの向上を目指し、大型排水フリューム据付後、再度トランシットによる中心線の確認をしました
・夏季作業の熱中症予防に、応急キット及びウォーターサーバーの配置や現場入り口には大型の横垂れ幕を設置し注意喚起をしました
・今後も、更なる技術・品質の向上に努め、地域社会に貢献して参りたいと思います

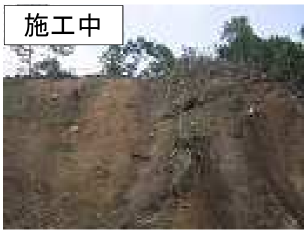
２５　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	下ノ沢地区 予防治山事業 ＲＧ１１１３Ａ４５１工事		
施工地名	横手市山内三又		
商号又は名称	宮原組・日高建設特定建設工事共同企業体		
請 負 額	86,850,750 円	工種・格付	法面 Ａ級
代 表 者	株式会社宮原組　代表取締役　宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人　渡邊 憲幸
(構 成 員)	日高建設株式会社　代表取締役　日高 英樹		
(許可番号)	05-008595	(監理技術者等)	主任技術者　熊谷 隆
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	小松 清繁	監 督 員	春日 重和
工　期	平成25年6月25日～ 平成26年1月31日	完成年月日	平成25年12月10日
概　要	１）山腹工　簡易法枠工 A=6,568.9㎡		
特　徴	１）急峻な地形(最大法長101m、垂直高70m、最大傾斜角61度)での工事 ２）現場条件に適応した仮設工の実施		

写　真

施工前


施工中

モノレール運搬

完成

◆発注公所の表彰理由

・当初計画面積より1,351.5㎡増となったが、適切な施工により工期を約２ヶ月短縮し、完成させた
・現場条件が厳しい中でも、出来形、品質ともに優れており、地域活動（貢献）への積極的な参加も見られた
・作業条件が厳しい中、現場条件に適した仮設工を実施するなど安全管理が徹底されており、最後まで事故なく現場を完成させた

◆施工業者からのＰＲ

・仮設工の見直しを行ったほか、社内の法面作業員を有効に活用し、柔軟な人員配置を図ることにより大幅な工期短縮を可能にしました
・三又地域の村おこし行事である「渓流祭り」では、祭事中の協力に対して後日感謝状を頂くなど、地域の皆様と良好な関係を築いたことは会社にとりまして大きな財産であります
・創業以来取り組んできた法面工事の経験を生かし、今後も安全・安心な郷土作りに取り組んで行きたいと思います

２６　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	水上沢地区 復旧治山事業 ＲＨ１１０１Ａ１１０工事		
施工地名	湯沢市下院内		
商号又は名称	株式会社高嶋組	許可番号	05-002677
請 負 額	36,106,350 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	代表取締役　高嶋 伸夫		
監理技術者等	現場代理人　山本 忠生		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	嶋貫 喜幸	監 督 員	小林 健太
工　　期	平成24年10月5日～ 平成25年7月19日	完成年月日	平成25年7月19日
概　　要	１）治山ダム工 N=3基 NO.1ｺﾝｸﾘｰﾄ床固工　L=25.0m、H=4.5m、b=1.5m、V=214.4m^3 NO.2ｺﾝｸﾘｰﾄ床固工　L=22.0m、H=4.0m、b=1.5m、V=150.2m^3 NO.3ｺﾝｸﾘｰﾄ床固工　L=26.0m、H=4.5m、b=1.5m、V=227.0m^3 ２）仮設道路 L=250.0m		
特　　徴	１）複数のダム工の一連の水替え処理 ２）残存型枠を用いた治山ダム工		

写　　　　真

施工前

完成

施工状況

◆発注公所の表彰理由

- 当該工事は、豪雨により渓岸崩壊が発生したため、下流の柳原集落の災害を防止するために治山ダム工を建設する工事である
- 床固工３基のうち、２基については、４月～６月の融雪期と梅雨時期で、もっとも流水量が多い時期であり、施工時には渓流に堆積した不安定土砂の流下が危惧される箇所であったが、水替え施設を一連の施工としたことで、作業効率を向上させ無事に工事を完成させた
- 木製の残存型枠を用いた治山ダム工であり、景観を損なうことなく丁寧に仕上げている
- 重機の搬入や生コン車の通行には、国道13号付近の工事等と重なるため、集落内への影響を考慮して、遠回りではあるが、国道１０８号の秋ノ宮経由で通行し、集落内の通行者の安全に配慮している

◆施工業者からのＰＲ

- 仮設道路水抜(ヒューム管)上流の沢は、岩が露出し小雨でも急激に増水、枝葉の流入が多く、水抜きの閉塞の危険があったため、上流部に流木止め(鉄柵)を設置し維持管理に努めました
- 下流河川の泥水抑制対策として、沈砂池及び吸出し防止マットによる、ろ過装置を設置し、日々監視をして生態系の保全及び環境配慮に努めました
- 渓流の増水や土石流に対応するため、避難経路や避難場所の周知の徹底と重機の死角確認を、実際の作業場所で作業中の想定に基づいた安全訓練を実施しました

２７　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

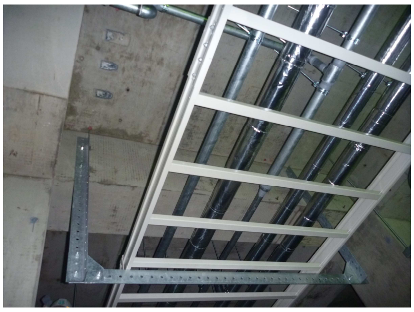
◆工事概要

工 事 名	大曲工業高等学校実習棟電気設備工事		
施工地名	大仙市大曲若葉町		
商号又は名称	田中・秋田特定建設工事共同企業体		
請 負 額	164,881,500 円	工種・格付	電気　Ａ級
代 表 者	田中電気工業株式会社　代表取締役　田中 拓美		
許可番号	05-060244	監理技術者等	現場代理人　高橋 浩昭
(構 成 員)	秋田電気工事株式会社　代表取締役　小笠原 喜悦		
(許可番号)	05-009270	(監理技術者等)	主任技術者　佐々木 一貴
発注公所	営繕課（建設部）		
主任監督員	山谷 昭仁	監 督 員	松沢 久光
工　期	平成24年12月28日～ 平成26年1月31日	完成年月日	平成26年1月31日
概　要	１）実習棟(RC造　2階　延床面積 5,833.66㎡)における電気設備工事（幹線、受変電、電灯、照明器具設備等）		
特　徴	１）１階実習室の照明器具等をレースウェイにより露出することで、実習機器の搬出入が容易となるほか、工業高校生徒の学習機会の向上に寄与している ２）廊下照明を昼光や人感によるセンサー制御を行い、さらに利用状況に応じた点灯とすることで省エネルギーを図っている		

写　真

実習棟照明器具

照明センサー制御


ケーブルラック耐震振止

◆発注公所の表彰理由

・現場関係者と密に調整を行うほか、現場条件の変更にも柔軟に対応している
・出来形管理や品質管理が徹底され、出来映えに優れている
・耐震対策として、ケーブルラック振れ止めの強化を自主的に実施している
・煩雑な電線管を容易に判別するため用途別に色分けし、完成後の維持管理に配慮した施工をしている
・施工期間中に工業高校生徒のインターンシップを企画し、職業体験の機会を設けている

◆施工業者からのＰＲ

・毎日の危険予知活動に加え、健康チェック表による一人一人の健康管理も実施し、事業所内における安全管理を徹底した
・重量機器の搬入時には、事前に車両ナンバー、搬入機器情報を管理し、過積載防止を行うとともに円滑な搬入を行った
・電気工事の母体である接地工事において、打ち込み時から竣工におけるまで、接地抵抗値を毎月記録・管理し、施工途中の予期せぬ断線、接地抵抗値の変動を未然に防いだ

２８　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大曲工業高等学校第一体育館電気設備工事		
施工地名	大仙市大曲若葉町		
商号又は名称	株式会社日仙電機	許可番号	05-006246
請 負 額	70,515,900 円	工種・格付	電気　Ａ級
代 表 者	代表取締役　田口 佐		
監理技術者等	現場代理人　高橋 和弘		
発注公所	営繕課（建設部）		
主任監督員	山谷 昭仁	監 督 員	松沢 久光
工　　期	平成24年12月26日～ 平成26年1月31日	完成年月日	平成26年1月31日
概　　要	１）第一体育館（SRC造　1階　延床面積1,863.00㎡）における電気設備工事 （幹線、電灯、照明器具設備等）		
特　　徴	１）県立高校の体育館として、初めて高天井LED照明器具を導入し省エネルギーと維持管理経費の縮減を図っている		

写　　　　真

体育館内部全景

一列毎に点灯

体育館照明器具耐震対策

◆発注公所の表彰理由

・現場関係者と密に調整を行うほか、現場条件の変更にも柔軟に対応している
・出来形管理が徹底され、出来映えに優れている
・高天井照明器具振れ止めの外観を損ねないよう工夫し、耐震と安全対策の向上を図っている
・使用状況に応じた点灯とするよう回路を構築し、省エネルギーを図っている
・高天井照明器具を清掃するため独自の器具を考案し、清掃することにより品質管理を徹底している
・校外の周辺道路や駐車場等の清掃活動を自主的に行い、地域貢献に取り組んでいる

◆施工業者からのＰＲ

・県立高校の体育館としては、初の高天井ＬＥＤ照明器具の設置となり、今後の同様な工事の基準になるとして取付工法や材料の選定及び地震災害への安全対策も検討し施工しました
・壁面へのケーブルラックの取付施工では、地震災害時の被害軽減のため耐震システム部材を用いて耐震補強を行いました
・天井点検口には建築・電気・機械の用途別のシールを貼り、天井内の配線ジョイントボックスには回路番号と種別を明示しメンテナンス時の効率化に配慮しました
・学校敷地内での工事の為、外構工事においては掘削作業箇所にバリケードを設置し、職員や生徒の通行の支障にならないように仮設迂回通路を設けて安全確保に努めました

２９　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田工業高等学校ラグビー場整備工事		
施工地名	秋田市保戸野金砂町		
商号又は名称	(株)沢木組・(株)宮原組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	151,895,100 円	工種・格付	一般土木 Ａ級
代 表 者	株式会社沢木組　代表取締役　沢木 則明		
許可番号	05-005082	監理技術者等	現場代理人　三浦 信幸
（構 成 員）	株式会社宮原組　代表取締役　宮原 竜也		
（許可番号）	05-010808	（監理技術者等）	主任技術者　武藤 梓
発注公所	教育庁（総務課施設整備室）		
主任監督員	池田 公幸	監 督 員	石塚 祐樹
工　期	平成25年5月17日～ 平成25年9月17日	完成年月日	平成25年9月9日
概　要	１）施工延長 L=115.3m、人工芝 t=65mm A=8,740㎡ ２）排水工・散水施設・囲障工 N=1式		
特　徴	１）ラグビー場の人工芝（ロングパイル）による施工		

写　　真

完　成

衝撃吸収材・人工芝敷設状況

現場実習会

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、県内での施工実績が少ないロングパイルの人工芝によるラグビー場の整備工事である
・人工芝の施工においては、舗装工の平坦性等が出来映えを左右するため、本工事の施工には、オートセンサー等の新技術を活用し、舗装工の良好な品質・出来形の確保に積極的に取り組んだ
・秋田工業高校敷地内の工事であったため、生徒への現場実習会を行う等、地域貢献に積極的に取り組んだ

◆施工業者からのＰＲ

・本工事は、４カ月と非常に短い工期であったが、ネットワーク式工程表による徹底した工程管理や運搬車両が多い工種時には生徒の登校が少ない夏休み期間中に施工を行うなどの工夫を行い工期の短縮に努めた結果、工期内での完成及び検査を受けることができた
・人工芝の選定については、発注者・学校ラグビー関係者と密に協議を行い自社でも他の人工芝グランドを視察して材料選定を行い、関係者の理解を得てから施工にあたった
・出来形管理、品質管理は規格値の５０％以内を社内目標値に設定し施工管理を行うことや、舗装時の新技術等の活用で人工芝の出来栄えを良好なものとすることができた

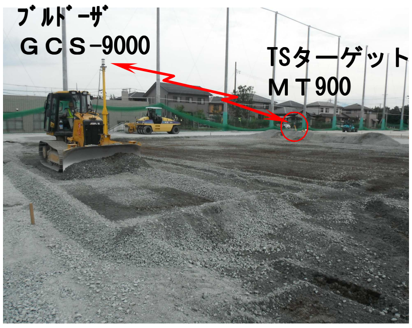
３０　第３５回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田中央高等学校ラグビー場整備工事		
施工地名	秋田市土崎港南		
商号又は名称	旭・大雄特定建設工事共同企業体		
請 負 額	233,028,600 円	工種・格付	一般土木　Ａ級
代 表 者	旭建設株式会社　代表取締役　渡辺 憲介		
許可番号	05-000088	監理技術者等	現場代理人　国塚　悟志
（構 成 員）	株式会社大雄建設　代表取締役　桧山 幹雄		
（許可番号）	05-004441	（監理技術者等）	主任技術者　村越　太郎
発注公所	教育庁（総務課施設整備室）		
主任監督員	池田 公幸	監 督 員	栗田 真二
工　　期	平成25年5月17日～ 平成25年10月11日	完成年月日	平成25年10月11日
概　　要	１）施工延長 L=118.3m、人工芝 t=65mm A=7,560㎡ ２）防球ネット工・電気設備・排水工･散水施設 N=１式		
特　　徴	１）ラグビー場の人工芝（ロングパイル）による施工 ２）周辺が市道・住宅に囲まれており施工範囲が限定されている		

写　　　真

完　成



情報化施工状況

人工芝施工状況

◆発注公所の表彰理由

・本工事は、県内での施工実績が少ないロングパイルの人工芝によるラグビー場の整備工事である
・人工芝の施工においては、舗装工の基準高の精度及び平坦性が出来映えを左右するため、本工事では情報化施工を採用し、舗装工の良好な品質・出来形の確保に積極的に取り組んだ
・周辺住民に対し工事に関する広報活動を実施する等、地域とのコミュニケーションを積極的に図る姿勢が見受けられた

◆施工業者からのＰＲ

・本工事は、当該校に近接する旧盲学校跡地の限られた敷地のため、事前測量を行い精査し、配置や排水計画について発注者と協議を重ね、ラグビー場の規格を満たすよう施工しました
・本工事完成後には、校舎新築工事が控えており、工期的に厳しい現場であった事から、工程のクリティカルパス上にあった防球ネット工事の工法等を再検討し、工期短縮に努めました
・近隣対策として、砂塵等を想定し、防砂ネットや散水養生による飛散防止措置を行いました
・発注者、教育庁監督職員の方々のご指導をはじめ、学校、ラグビー部関係者及び、地域住民の方々のご協力に感謝すると共に、今後も地域社会への貢献に努めて参ります

秋田県優良工事表彰　選考委員会名簿

選考委員長	副知事	堀井　啓一
選考委員	総務部長	藤井　英雄
〃	農林水産部長	奈良　博
〃	建設部長	冨田　耕司

秋田県優良工事表彰　幹事会名簿

幹事長	建設部建設技監	石黒　亙
幹事	（秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会）	
〃	副部会長	家入　昭彦
〃	専門委員	後藤　文彦
〃	専門委員	佐藤　悟
〃	（秋田県知事部局関係課室）	
〃	農地整備課長	倉部　明彦
〃	水産漁港課長	大竹　敦
〃	森林整備課長	佐藤　龍司
〃	建設政策課長	塚田　善也
〃	技術管理課長	佐藤　和義
〃	道路課長	柴田　公博
〃	建設部参事兼河川砂防課長	吉尾　成一
〃	営繕課長	小玉　嘉裕
〃	（秋田県教育庁関係課室）	
〃	総務課施設整備室長	田松　和彦

秋田県優良工事表彰要綱

（表彰の目的）
第１条　県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

（表彰の対象）
第２条　対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

（表彰の名称）
第３条　名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

（表彰の基準）
第４条　次のすべてを満足すること。
（１）当該工事の出来形が優秀であること。
（２）当該工事全般の管理状況が良好であること。
（３）当該企業において労働災害がないこと。
（４）当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
（５）建設業法及び「建設産業における生産システム合理化指導要綱」を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

（推　薦）
第５条　各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

（選考委員会）
第６条　表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第１のとおりとする。
２　選考委員会は、次項の幹事会の調査報告にもとづいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
３　選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第２のとおりとする。
４　幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

（表　彰）
第７条　表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰、地域振興局長表彰とする。
２　被表彰者は、施工企業の代表のほか、その工事を担当した監理技術者等とする。

（事務局）
第８条　事務局は、技術管理課に置く。

（補　則）
第９条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附　則
この要綱は、昭和55年５月１日から施行する。
平成10年３月27日一部改訂
平成12年４月１日一部改訂
平成16年４月１日一部改訂
平成18年４月１日一部改訂
平成19年４月１日一部改訂
平成20年４月１日一部改訂
平成21年６月１日一部改正
平成22年４月28日一部改正
１．この要綱は、平成23年４月25日から施行する。
２．平成２２年度の豪雪又は東北地方太平洋沖地震に伴い、契約事項第20条第３項又は第21条第２項の規定に基づき、工期延長された工事で、平成２３年４月１日から同年同月末日までに完成した工事については、本要綱第２条に規定する前年度完成した工事として取り扱うものとする。
この要綱は、平成24年４月１日から施行する。

※上記要綱内の「別表第１」及び「別表第２」の構成員は、Ｐ３６の名簿参照のこと

出番だス！
あきたびじょん
AKITAVISION